

れいゆうかいつうしん No. 3

商経学科卒業生へ短大近況報告

全商経学科同窓会から 9 年

「れいゆうかいつうしん No. 2」で、ご紹介させていただきました、[平成 15 年商経学科全同窓会]開催時に、当時の堀学長先生と大島教授に植樹していただいた、「さざんか」です。あれから 9 年経ちました。「先生方による植樹」ささやかなセレモニーでしたが盛り上がりました。

今年の春までは、学生ホール横の正面通路沿いの花壇に立て札も当時のまま設置され、ありました。

さざんかは、虫の付きやすい木ですが、大学関係者の方々に気をつけていただいていたのか、毎年、たくさん花を咲かせてくれていました。



秋～冬の花の少ない時期に咲いて
(平成 23 (2011) 年撮影)



鈴鹿短期大学全学の大学の引っ越しは、今年の 3 月にありました。

「鈴鹿短期大学商経学科」が「鈴鹿国際大学国際学部国際関係学科」と発展し、国際大学の開学と共に、商経学科の多くの先生方は国際大学へ移られました。ですので、卒業後、郡山町のキャンパスにみえる恩師にお会いしに研究室や学園祭など訪れた卒業生も多くみえることと思います。

私たちには、関係深い郡山への短大移転となりました。

庄野の校舎跡には、鈴鹿高校五号館（旧商経学科校舎と中庭）以外の建物は現在、取り壊されすべて撤去され更地となりました。

旧校舎を取り壊し・撤去との報を受け、同窓会関係者と記念樹を移植し残すべきかどうか相談し、結論として「お世話になった先生方に植樹していただいた思い出の木であること、そして、私たちの学び舎があった庄野の地（できれば鈴鹿高等学校内）に思い出として残したい」との思いに至り、このたび移植することとなりました。

移植に際し、鈴鹿高等学校・坂下事務局長には、高校敷地内への記念樹の移植をご快諾いただき、場所の選定などご協力いただきました。また、短大移転当時の鈴鹿短大・高久事務局長、清水建設・現場監督さん、伊藤造園の植木職人さん、高校職員・堤さん（商経卒）など、たくさんの方々のご協力により、無事に移植が終わりました。有難うございます。

鈴鹿高校新校舎南側花壇への移植作業では、伊藤造園の方々にお世話になり、枯れないように枝を剪定、短大花壇から掘り出し、根巻きテープで保護後、クレーンで吊り上げトラックで移動、手作業で植えしっかり添え木を据え付けていただきました。

移植作業中も、旧校舎の取り壊し作業が続いておりました。私たちを見守り、送り出してくれた校舎に「感謝」の気持ちで粉じん舞う中、見ておりました。



作業終了後のさざんか

平成 24（2012）年 5 月撮影

移植後のさざんかは、高校の先生方や職員の方にも見守っていただいております。早く樹勢が戻りますように…。

さざんかの花言葉は

「困難に打ち勝つ」「理想の恋」「謙譲」

あえて開花時期を冬に選ぶこの花らしい言葉かなと思います。

先生方、職員の方々、商経卒の皆さんへの「感謝」の気持ちと共に、震災や長引く不況など厳しい社会情勢の中、個々にご奮闘くださることを祈りつつレポートを終わります。

平成 24（2012）年 7 月作成